



世界社会奉仕 [WCS] 現物拋出 受領する側の成功のためのプランニング

自助志向のプロジェクトを 選ぶ

理想的なプロジェクトは、ロータリー・クラブの関与が終わった後も地域社会の人々が継続できるものです。選定過程の一環として、まず、時間、ボランティア、物資や資金など、利用可能な資源を検討してください。プロジェクトによっては[ロータリー財団](#)マッチング・グラントの受領資格を満たす場合があります。申請期日に気をつけて、発送日以前に補助金が処理されるよう早めに申請書を提出してください。

現物拋出プロジェクトを初めて実施するクラブは、小規模に始め、経験豊富なクラブの助言を仰いでください。次にコーディネーターを選びます。コーディネーターは活動を組織し、進捗を監視し、連絡担当窓口となる人物です。地区の世界社会奉仕委員長および地区ガバナーに計画を随時知らせてください。彼らは貴重な意見や援助を提供することができるでしょう。

受け取る側としてクラブが求めているのは物資でしょうか、それとも資金でしょうか。資金の方が速やかに受領でき、輸入税も、通関手続の問題もありません。現地で購入すれば、寄付された資金は経済の活性化につながります。

物資を求めることに決めた場合は、創意工夫を凝らしてください。例えば、必要なのは椅子でしょうか、それとも椅子を作る道具と材料でしょうか。要請する物資の種類にかかわらず、プロジェクトの初期段階に輸送費と輸入税の見積もりを入手しなければなりません。

プロジェクトの 協同提唱者 (パートナー) を 見つける

プロジェクトのパートナーを見つけるにはいくつか方法があります。

- www.rotary.org/projectLINKの[ProjectLINK \(プロジェクトリンク\)](#)を参照する
- プロジェクト展示会に出席する
- 国際ロータリー大会やその他の会議で人脈を築く
- 国際ロータリーの[国際奉仕プログラム担当職員](#)に連絡する

国内の協同者を得る

プロジェクトを開始するにあたり、税関職員やその他の政府職員と良好な関係を築き、必要な承認をできれば書面で得るようにしてください。また、受領する寄贈品の種類に応じて、それを規制する政府機関に連絡をとり、関係を築いておくことも大切です。例えば、クラブが医療物資の寄贈品を輸入する予定の場合は、厚生省に相談してください。連絡窓口となる職員が、輸入基準に変更があった場合などに、クラブに知らせてくれる場合があります。

支援団体を探る

支援団体は、税関、輸送、その他の実務分野で実際の助言を提供することができます。例えば、[グローバルハンド](#)という団体は、企業や地域団体が非政府組織の協力を得て適切な物資を最も必要とされる地域に輸送できるよう援助する、相手探しのサービスです。これらの団体は、現在のプロジェクトに援助を提供するだけでなく、将来の協同活動への道を開いてくれる可能性があります。支援団体の一覧は[RIのウェブサイト](#)をご覧ください。

ボランティアを募集する

ボランティアの人々は、各自の担当する具体的な作業やそれぞれに必要な時間など、自分の役割をよく理解すればするほど、熱心に奉仕活動をするものです。また、始めからプロジェクト全体のスケジュールをボランティアに知らせてください。一般的なボランティアの役割には、寄贈品の選別、目録作成、修理、輸送、および文書の翻訳などがあります。荷積み、荷下ろしなどの力仕事には、ロータリー、インターアクト、ロータリー地域社会共同隊のメンバーや地域の学校、スポーツチームなどの協力を得てください。プロジェクトに十分な人数のボランティアが確保できるよう、ボランティア・コーディネーターを任命してください。

受領者のニーズを 援助国の提唱者に伝える

受領者のニーズを伝える際は、細かく具体的に伝えてください。遠慮せずに、どのようなものが適切で、どのようなものが不適切かを如才なく説明してください。ニーズについてははっきり明言しておかなければ、海外のクラブが不必要な物資を収集し、梱包し、輸送することになりかねません。

保管設備と 国内輸送を探す

選別や配布の場に近い便利な場所にある保管設備を選びます。設備に十分な警備があり、温度や湿度などの保管環境がその物資に適していることを確認してください。国内運送業者や輸送会社による国内輸送を手配します。そのほかにも、非政府団体、地元企業、政府機関などが廉価の輸送手段を提供している場合があります。

通関手続きと 輸入税を処理する

通関手続きと関税無税品扱いについての情報を入手し、寄贈者が物資を発送するより充分前に、必要な手配をし、それを確認してください。高額の入税が課される場合があります。輸入税を支払わなければ、寄贈品は引き取れません。政府の義務付ける書類が何かを判断し、必要な作業について援助を受けるために、税関貨物取扱人を雇ってください。税関貨物取扱人は関税率を決める寄贈品の分類についても援助してくれます。一通り以上の分類が可能な場合があります、分類によって関税率が異なるため、できるだけ関税率の低い類に寄贈品を分類するのが賢明です。

寄贈者に適正な書類の添付が不可欠であることを再度伝えてください。適切な書類がなければ、貨物が税関で何週間も保留され、盗難の危険が高まります。

寄贈品が届いたら、次のようにします。

1. 通関手続きの迅速化と寄贈物資の保護のため、利用する国内輸送会社のスタッフに待機してもらう
2. 寄贈者に連絡を取り、貨物の通関が終わったことを知らせる
3. 中間保管地まで、または直接、それを受領する人々の元へ寄贈物を輸送する

寄贈品を配布する

寄贈品の状態を調べ、輸送中の破損がないか検査します。必要に応じて、受領者のニーズを満たすよう寄贈品を修理し、使用が不可能な場合は、保険請求を行います。不適切な品物があれば、別の受領者を見つける（支援団体の援助が得られるかもしれませんが）か、廃棄処分の手配をしてください。

プロジェクトを広報する

地元メディアや、クラブのニュースレターや地区の月信などで、情報を広めてください。ニュースリリースでは、プロジェクトの詳細を伝えるだけでなく、いかにプロジェクトが受益者に役立ち、ロータリーの理念の推進に役立ち、国際関係を向上するかを強調する必要があります。地元メディアとの連絡には、クラブと地区の広報委員長の援助が受けられる可能性があります。優れた広報は、プロジェクトへの意気込みを高めるだけでなく、新しいロータリー・クラブ会員の勧誘にも役立ちます。

評価し、祝い、分け合う

プロジェクトの完了後、プロセスの長所と短所について評価する時間をもってください。達成した事項、今後改良すべき点、新しい現物抛出コーディネーターに伝えたいことなどについて詳しくメモをとってください。このようなメモを[国際ロータリーの世界社会奉仕コーディネーター](#)までお送りください。協同提唱者に6カ月後の状況の事後報告を依頼してください（国際ロータリーのダウンロードセンターにある世界社会奉仕（WCS）現物抛出プロジェクト続報を参照）。援助してくれた人々全員に忘れず感謝を述べてください。ボランティアと寄付者に、彼等の貢献がいかに受領者に役立ったかを知らせてください。

寄贈品が効果的に使われるようにする

受益者との連絡を保ってください。必要に応じて、寄贈品を受け取る人々がその使い方や整備・修理方法を理解するよう援助してください。援助国側の提唱者との連絡を保ち、プロジェクトの成功について最新のニュースを提供し、将来の協同活動について話し合ってください。6カ月後に状況の事後報告書に必要事項を記入し、援助国側の提唱者に送ってください。